

室蘭山岳連盟

60周年記念登山『旭岳』

記 指導委員長 渡邊良久

令和元年7月27日(土)～28日(日)の日程で大雪山山系の旭岳で交流登山を行いました。

蘭友登高会5名、岳友会3名、登別山岳会6名、計14名の会員が集まり、27日の交流会、28日の旭岳山行ともに心配された天候も回復に向かう中、参加された会員皆様の協力で無事記念山行が出来たことを報告します。ありがとうございました。

山行時間

27日 6:20 姿見駅 8:45～9:10 旭岳山頂

* 岳友会は復路下山 10:30 姿見駅 解散

* 蘭友登高会・登別山岳会は

10:05 間宮岳 11:05～11:40 中岳温泉

12:20 裾合平分岐 13:50 姿見駅

14:30 旭岳ロープウェー駐車場解散

7月27日(土)15時、旭岳青少年野営場にそれぞれ会単位に集合して、テントの設営後、女性会員皆様に食事の用意、男性会員は飲み始め、16時交流会を始めました。その中で会員の自己紹介、山を始めたきっかけ、思いなどに話に花が咲き、消灯時間がとっくに過ぎたころそれぞれのテントで就寝となりました。



7月28日(日)、3時起床、それぞれ朝食をとり、テント撤収、5時過ぎ、まだ、開かない旭岳ロープウェー駅入口に集まりました。朝一番のロープウェーで姿見駅に着くと外は霧の為、旭岳山頂は全く見えず、とりあえず、60周年記念登山の記念写真を撮り、姿見駅を出発。登るにつれ霧は濃くなり風も強くなっていきました。しかし、頂上に着いたとたん風は収まりましたが、霧は晴れず記念写真は霧の中で撮りました。



岳友会は往復登山することになっているため、山頂

で分かれ、霧の晴れない反対方向の黒岳方面に向かいました。旭岳・裏斜面の雪渓はいつもより少ない状態でした。北海岳と間宮岳の分岐付近は風が強く吹いていてとても休める状態ではなかったので休憩も取らずに中岳分岐まで歩きました。



だんだん、霧が晴れ、周りの景色が少しずつ見えるようになり、晴れ間から北海岳方面の景色が浮かび上がった時、歓声が、ところどころ、足を止めて周辺の景色や花々を見ながら足早に中岳温泉へ、温泉では温泉の湯を楽しんだり食事をしたり、30分ほど休憩しました。



裾合平では一面の花畑、エゾノリュウキンカ、チングルマなどの群落にカメラを向け景色を楽しみながら歩きました。



分岐から帰る途中では、白鳥の雪渓や姿を現した旭岳の山容見ながら姿見駅へ到着。



歩き始めはどうなるだろうと思う天気が回復し、まずまずの山行になりました。皆様のおかげで無事に山行が終わりました。ありがとうございました。

